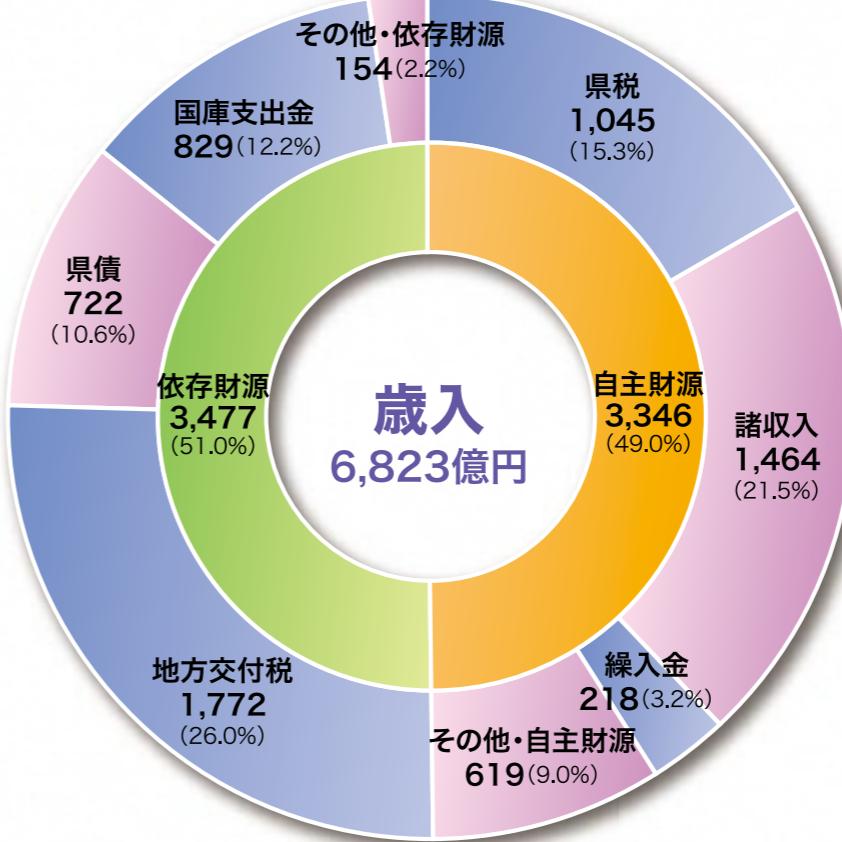


コロナ克服・未来創造予算

令和3年度は、「第4次山形県総合発展計画」の基本目標である「人と自然がいきいきと調和し、真の豊かさと幸せを実感できる山形」の実現に向け、「令和3年度県政運営の基本的考え方」の5つの視点を重視しながら、「コロナを克服し、さらに輝かしい山形の未来を創るために予算編成と組織改正を行いました。

(単位:億円)



令和3年度当初予算（一般会計）の概要

用語解説

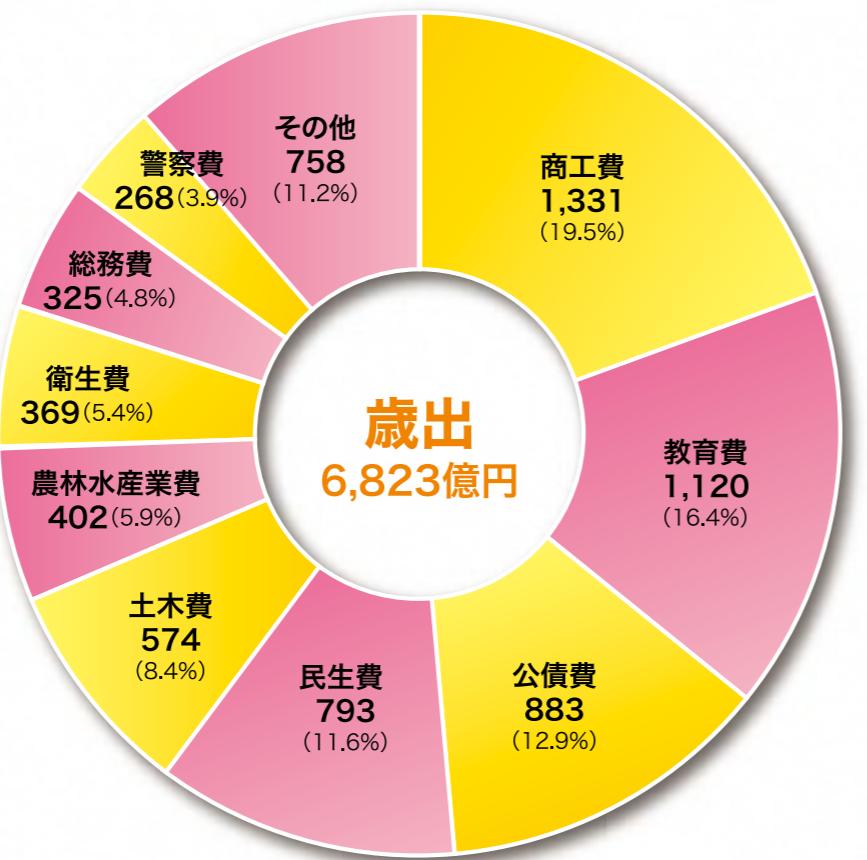


【歳入】

- ◎地方交付税…自治体間の財源の不均衡を調整するために、一定のルールで国から交付されるお金
- ◎県債…災害対応や道路整備・学校を建てるなどの目的で県が借りるお金
- ◎国庫支出金…農地の整備など、特定の事業に対して国から交付されるお金
- ◎自主財源…県税など、県が自ら収入する財源
- ◎依存財源…国から交付されたり、割り当てられたりする財源

【歳出】

- ◎公債費…県債返済などに使うお金
- ◎民生費…生活保護などの社会保障のためのお金
- ◎衛生費…医療や健康増進、環境保全などのためのお金



【予算規模】

令和3年度一般会計当初予算は、総額6,823億円となりました。前年度当初予算から約690億円の増となり、3年連続で前年度を上回る予算となります。

【歳入予算】

県税は、コロナ禍により法人事業税や個人県民税の減収が見込まれることから1,045億円となり、前年度と比べて減額を見込んでいます。一方で、新型コロナウイルス感染症への対応のための交付金をはじめとした国庫支出金は829億円と前年度比15.0%の増加、地方交付税は1,772億円と、同じく1.3%の増加を見込んで歳入予算を確保しました。

【県債残高の見込み】

今年度末の県債残高の見込みは、1兆2108億円となり、前年度の同時期と比べて、約278億円の増加を見込んでいます。また、財政健全化の目標として掲げている臨時財政対策債と補正予算債等並びに災害復旧事業債を除いた今年度の実質的な県債残高は6,612億円となります。前年度の同時期と比べて65億円の増加を見込んでいます。

【組織機構の改正】

「令和3年度県政運営の基本的考え方」に示した施策を効果的に展開し、変化に対応しながら、持続的に発展し続ける県づくりを着実に進めるため、**しあわせ子育て応援部**の新設等の組織機構の改正を行いました。

ふるさと山形力の向上

～郷土愛を醸成し、みらい創造にチャレンジする環境づくり～

【視点①】

◆子育て費用の完全無償化に向けた段階的な支援
11億2千7百万円

◆発達障がい児の初診待機期間を短縮
2千3百万円

◆女性の賃金向上への支援
1億2千万円

【施策の方向性】

- 本県の豊かな地域資源を活用した移住・定住の促進
- テレワークなど働き方改革の推進と女性の賃金向上
- 幸せな子育て・質の高い教育環境の整備
- 文化芸術・スポーツに親しむ環境づくり

【主要な事業】

◆子育てするなら山形県の実現へ

「子育てするなら山形県」の実現に向けて、子育て費用の段階的な無償化に取り組んでいきます。出産費用の負担軽減のため、平均出産費用と出産育児一時金の差額の2分の1程度を市町村と連携して給付する「出産支援給付金」を創設します。また、0～2歳児の保育料について、子育て世帯の負担軽減を段階的に図ります。さらに、私立高等學校等の授業料軽減のための支援額を拡充します。

【全国初 NEW】

◆子育て費用の完全無償化に向けた段階的な支援
11億2千7百万円

◆発達障がい児の初診待機期間を短縮
2千3百万円

◆女性の賃金向上への支援
1億2千万円

【施策の方向性】

- 女性の賃金の底上げや正社員雇用を促進するため、若年女性の非正規雇用労働者の賃金引き上げや、正社員への転換を行う事業者に対し、支援金を支給します。

【主要な事業】

「子育てするなら山形県」の実現に向けて、子育て費用の段階的な無償化に取り組んでいきます。出産費用の負担軽減のため、平均出産費用と出産育児一時金の差額の2分の1程度を市町村と連携して給付する「出産支援給付金」を創設します。また、0～2歳児の保育料について、子育て世帯の負担軽減を段階的に図ります。さらに、私立高等



「子育てするなら山形県」の実現へ